

加筆・変更箇所	加筆・変更前	加筆・変更後
p. 1-6, 第11行	2020年	2019年
p. 1-12, 脚注1	電場に比例する	磁場に比例する
p. 1-23, 下から第8行	表1	表8
p. 1-25, 下から第3行	Wbを	Wb mを
p. 1-32, 下から第6, 1行	超微細	微細
p. 1-33, 第3行	超微細	微細
p. 1-35, 第2行	式(100)	式(144)
p. 2-14, 式(50)-2 第2行第n 列成分	$\int \phi_1^* \phi_n' d\tau$	$\int \phi_2^* \phi_n' d\tau$
p. 2-22, 式(87)	$(\mathbf{i}, -\mathbf{j}, \mathbf{k})$	$(\mathbf{j}, -\mathbf{i}, \mathbf{k})$
p. 2-41, 式(143)	$y_n \mathbf{a}'_m$	$y_m \mathbf{a}'_m$
p. 2-45, 下から第2行～ p. 2-47, 最終行		<p>(削除し, 以下を挿入) $V = V'$ の場合は, 基底について $\{\mathbf{a}_i\} = \{\mathbf{a}'_i\}$ であり, $\{x_i\}$ も $\{y_i\}$ も n個の 要素からなるから, 式(152)は</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> $\begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \\ \vdots \\ y_n \end{pmatrix} = A \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ \vdots \\ x_n \end{pmatrix} \quad (163)$ </div> <p>となる。</p>
p. 2-53, 第8行	ψ_i°	ψ_i^*
p. 4-5, 第4行	誘電率	透磁率
p. 4-17, 第15行	式式	式
p. 4-17, 第16行	対応している	対応している
p. 5-3, 式(4)	$d\phi$	$d\phi$
p. 5-5, 下から第12行	各運動量	角運動量
p. 5-6, 第11行	式(13)に	式(13)の
p. 5-6, 第11行	各運動量	角運動量
p. 5-7, 第6行	式(19)	式(19)を
p. 5-9, 図3, caption	電子スピン共鳴(NMR)	電子スピン共鳴(ESR)
p. 5-10, 第2行	μ_e	μ_B
p. 5-13, 脚注3	文献3, 第16章	文献4, 第16章
p. 5-25, 第15行	等速度回転	等速回転
p. 5-27, 図7	$-2m\boldsymbol{\omega} \times \mathbf{v}$	$-2m\boldsymbol{\omega} \times \mathbf{v}'$
p. 5-36, 第1行	最差運動	歳差運動
p. 5-36, 第8行	(式 ID112))	式(124)
p. 5-47, 下から第5行	ω_3 軸	x_3 軸
p. 5-48, 第1行	$\dot{\chi}$	$\dot{\chi}$

加筆・変更箇所	加筆・変更前	加筆・変更後
p. 5-48, 第1行	ω_3	ω_3
p. 5-48, 第2行	χ	χ
p. 5-49, 下から第2行		$\left(\frac{1}{2} I_3 \left(\frac{L}{I_1} \right)^2 \cos^2 \theta \text{を1つ削除} \right)$
p. 6-9, 第10行	列自分	列自身
p. 6-9, 第14行	行列A	行列A
p. 6-14, 第8-9行	$(m_1 = -j, -j+1, \dots, j-1, j \text{に})$	$(m_1 = -j_1, -j_1+1, \dots, j_1-1, j_1 \text{に})$
p. 6-14, 第11行	$\langle j_1 m_1, j_2 j - m_1 j j - 1 \rangle$	$\langle j_1 m_1, j_2 j - m_1 - 1 j j - 1 \rangle$
p. 6-23, 脚注1		(削除)
p. 6-45, 脚注1	${}^3P_2(J=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), {}^3P_1(J=1, 0, -1 \text{の3状態}), {}^3P_0(J=0 \text{の1状態})$	${}^3P_2(M_J=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), {}^3P_1(M_J=1, 0, -1 \text{の3状態}), {}^3P_0(M_J=0 \text{の1状態})$
p. 6-45, 脚注1	$D(M_J=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), P(M_J=1, 0, -1 \text{の3状態}), S(M_J=0 \text{の1状態})$	$D(M_L=2, 1, 0, -1, -2 \text{の5状態}), P(M_L=1, 0, -1 \text{の3状態}), S(M_L=0 \text{の1状態})$
p. 6-51, 式(264)	$J_z^2 1, 0, 1, -1 \rangle$	$J_z^2 1, 1, 1, -1 \rangle$
p. 6-52, 式(273) 第3行	$\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$	$\frac{1}{\sqrt{3}}$
p. 6-54, 表9 Φ_3	$\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$	$\frac{1}{\sqrt{3}}$
p. 6-55, 第4行	$M_J = M_J + M_S$	$M_J = M_L + M_S$
p. 6-55, 第19行	, s_i	(削除)
p. 6-55, 第20行	, s_i, m_{s_i}	(削除)
p. 6-55, 脚注4		逆に, (以降を削除)
p. 6-59, 下から第8行	正規直交固有関数系(=完全系)	完全正規直交固有関数系
p. 6-68, 式(331) 第2, 4行	J_1	J_1
p. 7-4, 下から第4行	1区画の遷移	1区画への遷移
p. 7-4, 脚注2	確率と言葉	確率という言葉
p. 7-17, 第2行	$g_{J'}$ が	$g_{J'}$ が
p. 7-23, 脚注2	Q	Q
p. 7-33, 式(153)	(式中すべて) E'	E'
p. 7-47, 式(229), (230)	$dN(\nu_C, \Omega)$	$d^2N(\nu_C, \Omega)$
p. 7-47, 式(232), (233)	$dN(\nu_C, \nu_D, \Omega)$	$d^3N(\nu_C, \nu_D, \Omega)$
p. 8-2, 下から第5行	大きが	大きさが
p. 8-6, 表1		(最下段の条件を非平衡時のみに適用する)
p. 8-12, 式(43)-1 (2箇所)	μ	μ
p. 8-12, 式(43)-1	E^*	E^*
p. 9-8, 下から第5行	右辺の	右辺を

加筆・変更箇所	加筆・変更前	加筆・変更後
p. 9-10, 式(42)	$dA \leq pdV$	$dA \leq -pdV$
p. 9-10, 脚注1	(文献2)	(削除)
p. 9-11, 第5行	(可逆的に)	(削除)
p. 9-11, 第6行	系から(可逆的に)外界に	外界から(可逆的に)系に
p. 9-29, 下から第5行	$Rd \ln p$	$nRd \ln p$
p. 9-29, 下から第3行	$Rd \ln V$	$nRd \ln V$
p. 9-32, 第19行	温度あるいは熱の移動	温度および熱・仕事
p. 11-1, 式(1)	$R_{v,J'}^{v,J'}$	$R_{v,J'}^{v,J'}$
p. 11-1, 式(3)-2	π	π
p. 11-6, 下から第2行	だけものである	だけのものである
p. 11-12, 第1行	波数スペクトル → 波長スペクトル	波長スペクトル → 波数スペクトル
p. 11-14, 第14行	(56)	(58)
p. 11-14, 式(60)	\sum_i	\sum_j
p. 11-18, 脚注6	コマ	こま
p. 11-19, 脚注2	・ ・ D_{nh} 点群は z 軸が全対称表現に	・ ・ D_{nh} 点群は x, y, z 軸が全対称表現に
p. 11-19, 脚注3	文献4の中で	G. Herzberg, Molecular Spectra and Molecular Structure III, Electronic Spectra of Polyatomic Molecules, Van Nostrand Reinhold, New York, 1966で NH_2 を
p. 11-23, 式(116)		($\sum_{M,M'}$ の和は不要)
p. 11-24, 式(117)	$\sum_{M,M'}$	$\sum_{M',M''}$
p. 11-24, 式(118)	$\sum_{M,M'}$	$\sum_{M',M''}$
p. 11-24, 脚注2	R. D. Bates, <i>Proc. Phys. Soc.</i>	D. R. Bates, <i>Mon. Not. R. Astron. Soc.</i>
p. 11-26, 式(129)	$R_{e,v',J'}^{e,v',J'} ^2$	$ R_{e,v',J'}^{e,v',J'} ^2$
索引, p. 6, 右カラム(3箇所)	ギブス	ギブズ

2025年1月12日